

ツキノワグマの注意喚起について

県内においてツキノワグマの出没が多発しており、人身被害の事故が起きています。本市においても6月から7月にかけて山間部でクマの目撃が多発しており、クマが山際の集落や農地、観光施設付近に依存し、繰り返し出没していることから以下の点について注意してください。

【山や河川敷へ行かれる方々へ】

1 注意点

- (1) 身近なところにクマがいることを意識し、クマと「鉢合わせ」にならない工夫をしてください。
- (2) 山や河川敷に入る時は、鈴やラジオなど音の出る物を持ちましょう。「沢沿い」や「山の尾根を越えるとき」は、音が伝わりにくいため、特に注意が必要です。
- (3) 特に「明け方」や「夕暮れ時」はクマの活動が活発になります。人家付近であっても、外作業する場合は、必ず鈴やラジオなどの音の出るものを携行しましょう。
- (4) 単独で林内へ入ることはできるだけ避けましょう。山菜採り、登山、森林散策、溪流釣りなどをされる際は、できるだけ複数人で行動することが大切です。

【山際で農作業等される方々へ】注意点も含め以下の対策に努めてください。

1 誘因物の除去

- (1) クマは、誘引物に対し強い執着を示し、誘引物を放置しておくことで多数のクマを集落へ近づけてしまいます。
- (2) 誘引物の管理を徹底し、できるだけ除去してください。生ごみなどを野外に放置すると、クマを誘引することに繋がります。誘引物として養蜂箱、農作物、廃果、養魚、家畜飼料、家庭ゴミ、バーベキューなどの残渣、油性塗料、調理油、果実酒、罠にかかった動物などがあります。

2 出没防止の対策

- (1) 養蜂や養魚場、農地などにクマが依存する事例が多く発生しています。誘因物の除去や電気柵の設置など、クマが出没しにくい環境づくりをお願いします。